

平成25年度大阪府立吹田東高等学校

第1回学校協議会

日時：平成25年6月10日（月）

場所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

- ・委員 天津 謙二 吹田市立東山田小学校 校長
- 柏淵眞理子 地域教育協議会 東山田地区青少年指導員会地区委員長
- 城下 英行 関西大学 社会安全学部 助教
- 角 美代 本校 P T A会長
- 室 善博 吹田市立千里丘中学校 校長
- 石黒 典男 学校関係者
- 校長 中田 裕省 吹田東高等学校 校長
- 事務局 今井 洋子 吹田東高等学校 教頭
- 内田 秀司 吹田東高等学校 事務長
- 池田 隆宏 吹田東高等学校 首席（今回欠席）
- 藪内 博樹 吹田東高等学校 首席
- 久保 美治郎 吹田東高等学校 指導教諭
- 松村 昌和 吹田東高等学校 進路指導主事

・学校協議会実施要項についての確認

会長選出 天津校長 職務代理者 室校長
保護者から学校への意見書の提出は0件であった。

・議 事

◆報告事項

(1) 部活動の活躍について

能楽部全国大会出場。
陸上部 5000m競歩近畿大会出場。
女子バレー部近畿大会出場。

(2) 今年度の学校経営計画について

めざす学校像、中期的目標（3年をめど）について確認。

- ・若手塾（初任者を含め、採用2年以内の教員）の活用。
- ・ICTを活用。成績処理などの公務処理システムをすべての府立高校で統一する。
- ・こころざしルーム（旧地学講義室）の活用。グループ学習やICTを活用し、様々な形態の学習が可能。

(3) 進路状況について

4年制大学への進学率が年々増加している。短期大学や専門学校は学年によって変動がある。今年浪人生が少なかった。去年に比べ、関関同立は減少したが、産近甲龍は同じぐらい。大阪経済大はかなり増加した。近畿大学の合格率が悪い。今年はセンター試験や一般入試を受験した生徒が減少した。今後はセンター試験や一般入試の受験者を増やす方を検討中。

委員：センター試験を受験させる時代なので、生徒に受験するよう発破をかけることが大事。

(4) 新入生のアンケート結果について

第一志望率 62.5%。前期入試受検率 93.9%。吹田東高校のイメージとして「校則が厳しい」はかなり定着してきている。だからこそ、受検した生徒が近年増えている。希望進路については4年制大学が56.1%で未定が27.2%であった。中学校時の通塾率は82.8%である。

(5) 耐震化について

6月中旬から体育館の耐震工事が始まる。校舎については来年度からであるが、未定の部分が多い。学習環境を整える必要がある、特に体育や部活動に支障がないように検討中である。

◆協議事項

『学校経営計画』と『授業改善』について

◇協議内容要旨

『学校経営計画に』については前述。

『授業改善』について

事務局

- ・今年度、府教委主催のパッケージ研修に応募。教職員全体で授業での問題点や改善点を共有しながら改善する。
- ・授業アンケートを実施し、授業の改善を図る。
- ・授業をビデオに撮って、今後の参考にする。
- ・千里丘中学校の公開授業に毎年、10名程度参加している。感想として数学の授業で情報機器を活用したり、生徒への話し方が高校と違って、生徒目線であることが参考になったとの意見があった。
- ・今年度から情報を1年で履修することになった。理由は情報の収集や活用が色々な場面で必要。

委員：本日の公開授業では科目にもよるが、寝ている生徒が多かった。授業開始までに教室に入室している。教員の声が隣のクラスまで聞こえているので、気にならないのかと思った。

委員：文系でも数Bを履修できるのは大事。大学に入学してから必要になることもある。

委員：私学の受験は英語で決まることが多く、英語の選択が多いことはいいことだ。

事務局：本日いただいた意見を参考に学校運営をしていきます。